

# 日本消防



- 第29回全国消防殉職者慰霊祭の開催
- 日本消防協会理事会の開催

□ 絵	第29回全国消防殉職者慰霊祭 日本消防協会理事会の開催・消防育英会評議員会開催	(財)日本消防協会
巻頭言	消防団は地域とともに	財団法人 宮崎県消防協会 会長 尾中 代博 ……1
	全国消防殉職者慰霊祭	(財)日本消防協会 ……3
	ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」出演者紹介	(財)日本消防協会 ……7
	財団法人日本消防協会理事会の開催及び生活協同組合全日本消防人共済会理事会の開催	……13
	頑張れ！少年消防クラブ（広島県）「BFC 放水訓練・普通救命講習等の実施」	府中町消防本部 予防課予防係 佐伯 真理 ……14
	頑張れ！少年消防クラブ（秋田県）「結団式を行いました。」	能代市総務課防災危機管理室 主任 山本 好太郎 ……15
	頑張れ！少年消防クラブ（福岡県）「万灯流し」に参加しました。	八女消防署 上陽分署長 木附 大策 ……16
	頑張れ！少年消防クラブ（福島県）「田村市立大越中学校消防クラブの活動について」	田村市立大越中学校 教頭 森川幸治 ……17
	特別表彰「まとい」を受章して「安心安全なまちづくり」にむけて	熊本県菊池市消防団 団長 岩木 憲文 ……18
	東西南北（鳥取県）「地域の安全・安心のために」	鳥取県境港市消防団 団長 船木 伸一 ……20
	東西南北（埼玉県）「熱き心で郷土を愛し、郷土を守る。」	埼玉県熊谷市消防団 団長 新井 正夫 ……22
	東西南北（愛媛県）「机上から実践へ」～地域間の温度差解消に向けて～	愛媛県宇和島市消防団 団長 三森 計典 ……24
	東西南北（鹿児島県）「始良市誕生と消防団の再編」	鹿児島県始良市消防団 団長 七反田 正勝 ……26
	シンフォニー（長野県）「真に男女が共生する消防団を目指して」	長野県松本市消防団 第21分団 団員 吉村 結城子 ……28
	シンフォニー（島根県）「地域に根ざした活動を」	島根県安来市消防団 広瀬方面隊 団員 藤原 聖美 ……30
	7・15豪雨災害を振り返る～得たものと失ったもの～	岐阜県可児市消防団 団長 小澤 修二 ……32
	住警器Now! ～第4回～	総務省消防庁 予防課 ……35
	集合住宅の管理組合における住警器の設置促進活動（東京都江戸川区）	(財)全国消防協会 ……38
	「第39回全国消防救助技術大会」について	総務省消防庁 予防課 ……41
	平成22年秋季全国火災予防運動	総務省消防庁 防災課 ……42
	婦人（女性）防火クラブ活動への理解と参加の呼びかけ	総務省消防庁 防災課 ……42
	正しい119番緊急通報要領の呼びかけ〔11月9日は「119番の日」〕	総務省消防庁 防災課 ……43
	～迅速・確実な消防活動のために～総務省消防庁 防災情報室	……44
	うちの名物団員	……44
	消防団の広場（福島県）「我が消防団」	福島県須賀川市消防団 団長 佐藤 茂 ……46

11月の日本消防協会関係行事  
編集後記

## 表紙写真説明

### 「境港の“ベニガニ”」

ベニズワイガニは、松葉ガニより深海（800～2,000m）に生息するカニであり、名前のとおり鮮やかな紅色をしているところから、地元境港では「ベニガニ」と呼んで親しく賞味されています。

写真は、早朝の通称「かにかご岸壁」に氷と共にベニガニが詰められた水色のコンテナが一斉に積みあげられている様子です。

鳥取県境港市

# 第29回 全国消防殉職者慰霊祭

平成22年9月16日(木) ニッショーホールにて開催



# **(財)日本消防協会理事会開催**

平成22年9月16日(木) 於 日本消防会館



# **(財)消防育英会評議員会開催**

平成22年9月7日(火) 於 日本消防会館



## 消防団は地域とともに

財団法人 宮崎県消防協会 会長 尾中 代博



我が宮崎県は、九州の南東部に位置し、東は黒潮流るる雄大な日向灘を望み、西には緑豊かな九州山脈そびえ立つ、自然豊かな土地柄であり、南北160km、東西80km、面積7,700km<sup>2</sup>、全国でも有数の広大な面積を有しております。

県の基幹産業は農業を中心とする第一次産業であり、中でも温暖な気候を利用したハウス園芸が盛んで、一年中様々な野菜や果物が県内各地において栽培されております。最近では東国原知事のトップセールスで、宮崎県産のマンゴー「太陽の卵」が新たな特産品として、全国的なブランドの地位を獲得したところであります。

また、牛の繁殖や肥育、養豚の畜産業も盛んで特に牛については「宮崎牛」のブランド名で優秀な肥育牛を出荷しております。我らの同胞である消防団員もその仕事に、数多く携わっており、宮崎県の主要産業として重要な位置を占めております。

しかしながら、本年4月に発生しました、家畜伝染病口蹄疫は宮崎県全体に深刻な影響を与えました。

4月20日に口蹄疫感染農場1例目が確認され、5月18日には県内に非常事態宣言が出されてから、7月27日に同宣言が解除になるまで、牛68,266頭、豚220,034頭が殺処分となり、埋却されました。

その間、口蹄疫に感染し家畜が処分された農家のみならず、感染していなくても口蹄疫感染に怯えながら懸命に連日の防疫作業にあたった畜産農家の皆様の疲弊の度は日に日に深刻になっていきました。私自身は園芸農家ですが、被害が拡大するにつれ、畜産農家の収入の激減、それに伴う生活維持の困難や子供の就学維持などへの影響はいかばかりかと心を痛める毎日で、同じ農業に関わる者としても沈痛な思いを感じたところで

す。

県内の消防団も、畜舎の消毒や道路消毒作業な

どを地元の支援活動の一環として、連日行っておりました。

そのような中で、全国の消防団員、署員の皆様から、宮崎県消防協会にたくさんの義援金と心温まる激励文をいただきました。

みなさまの御厚情に対しまして、県内消防団員を代表し、心より御礼申し上げる次第でございます。お陰をもちまして8月27日に終息宣言が出され、今後、一刻も早く、被害を受けた畜産農家や関連事業者、そして被害地域の全ての方々々が復興し、元の生活を取り戻され、県全体に活気が戻り「元気な宮崎」になることを切望しております。

さて、近年は毎年のように全国各地において、短時間での集中豪雨や地震などの大規模災害が発生しております。このような際に消防団の組織力、即時対応力、そして、地元消防団が持つ、住民情報や危険地域に関する情報力は非常に重要であり、大規模災害時には大きな力を発揮するものと考えております。

しかしながら、全国と同様に本県においても新入団員の減少、また、消防団員のサラリーマン化などの問題を抱えており、各種災害への出動率の低下や消防団を頼みの綱とした地域活動への参加



消防団による車両消毒状況（口蹄疫）

率の低下にも繋がり、一部の団員の負担増、ひいては地域防災力の低下にも結びつくものと懸念しております。

これらの問題解決のため、宮崎県においては総合評価落札方式の採用を、また、一部市町村では消防団協力事業所表示制度の導入など、消防団が活動しやすい環境づくりに取り組んでいただいております。今年度からは、消防団活性化補助金の名目で年1万円の支給や消防団員家族等協力金として年1万円の商工会共通商品券を支給するなど、新たな取り組みを行う市町村もあるようでございます。

このほかにも、私が団長を務めます宮崎市消防団では、消防団音楽隊やラップ隊、また、女性消防団の活動などを通して消防団を身近な存在として、理解していただくよう、様々なイベント開催時にPRを行うなど工夫を凝らしておりますが、私は、あらゆる行政施策と同時に、我々消防団が地元住民の方々に消防団活動を直接お知らせし、理解していただくことが最も重要であり、一番の基本ではないかと考えております。

つまり、人間関係が希薄になっている現在、「消防団と地域の方々との対話の場は確保されているのか。地元総会などで消防団の広報が疎かになってはないか。」など地域との良好な関係、理解なくして、良好な消防団活動は難しいと考えます。

消防団は地域あつてのもの、地域と一心同体であり、地域住民に愛され、信頼されるものでなければなりません。

今回、口蹄疫感染を防ぐため、各地域で行われた消防団による支援活動は、「地域を守るのは自分達だ」、という強い信念と地域からの要請により実施されたものであり、消防団の基本理念である「郷土愛」そして、消防団と地域との「絆」を再確認したところであります。

近年、消防団を取り巻く社会環境、役割は変化し、国民保護法による住民の避難誘導や災害時要援護者の避難支援活動など、地域防災のリーダーとしての役割が求められております。今後も消防団の組織強化、そして、訓練研修による団員個人の資質向上を目指し、地元住民の安全を確保し、安心を提供していく所存であります。

「やっぱり消防団だ」、「消防団がいて本当に良かった」と、地域に愛される、信頼される消防団を目指して、今日も団活動に励んでまいります。



宮崎市消防団音楽隊演奏風景



宮崎市女性消防団の寸劇状況



機能別消防団（水上バイク隊）

# 全国消防殉職者慰霊祭

財団法人 日本消防協会

第29回全国消防殉職者慰霊祭が9月16日（木）、東京都港区のニッショーホールにおいて関係者約600名が参加して執り行われました。

今回、新たに合祀された御霊は10柱、総合祀数は5,415柱となりました。

西岡武夫参議院議長、原口一博総務大臣が特別来賓として参列され、御霊の奉納、黙とうの後、高木繁光会長の式辞に続いて、総務大臣から追悼の言葉をいただきました。

続いてご遺族を代表して岐阜県の後藤学様が追悼の言葉を述べられた後、参列者による献花、江戸消防記念会による鎮魂の歌（木やり）が行われ、高木会長のお礼のあいさつで式典は終了しました。





式辞 高木会長

## 式 辞

### 日本消防協会 会長 高木繁光

本日、ご遺族をお迎えし、原口総務大臣、西岡参議院議長をはじめとするご来賓各位並びに全国消防関係者多数のご参列のもと、第29回全国消防殉職者慰霊祭を執り行うにあたり、消防の使命に殉じられた数多くの御霊に対し、謹んで哀悼の誠をささげます。

今回、新たに合祀された10柱を含む5,415柱の御霊は、国民の生命、身体、財産を護るといふ消防の任務に従事され、旺盛な使命感と郷土愛護の精神のもと、火災や自然災害の現場において尊くもその職に殉じられた方々であります。

そのご功績に対し深く敬意を表しますとともに、ご遺族の胸中を思い、あらためて深い悲しみを覚えるものであります。

今ここに、我々一同は御霊のご遺訓を体し、心を新たにさらに団結を強め、強靱な

消防精神をもって、事故防止に万全を期しつつ郷土防災に力を尽くし安全で安心な社会を実現するため、精進邁進することをお誓い申し上げます。

終わりに、御霊の安らかなご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念して式辞といたします。

## 追悼の言葉

### 総務大臣 原口一博

第29回全国消防殉職者慰霊祭に当たり、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

火災や地震、台風、集中豪雨などの災害から国民の命と財産を守る消防の活動は、多くの危険と困難がとなりあわせです。不幸にも昨年、今年と防災ヘリコプターの墜落事故による殉職が続くなど、我が国の消防にとって前途有為な方々を失ったことは、痛惜の念に堪えません。



本日、新たに祀られた御霊は、10柱であり、消防活動の真っ只中、我が身の危険を顧みることなく地域住民を守るという強い使命感のもと、その責務を全うしようとし尊くもその職に殉じられました。

その身をもって示された崇高なる強い責任感、行動は、私どもが常に銘記しておくべき消防精神の発露であり、永く後世に受け継いでゆかなければなりません。

私どもは、このような不幸な事故が2度と起こらないよう最善の努力を尽くしてまいるとともに、今後とも消防力の充実と防災体制の整備に取り組み、国民の安心・安全を守るべく邁進してまいります。

ここにあらためて、御霊の御冥福と御遺族の皆様方の心穏やかな日々をお祈り申しあげまして、追悼の言葉といたします。

### 追悼の言葉（遺族代表）

#### 岐阜県羽島郡 後藤 学

本日、第29回全国消防殉職者慰霊祭が執り行われるにあたり、全国の消防殉職者の遺族を代表して、御霊の安らかなご冥福をお祈り申し上げます。

私の長男は、昨年9月11日、殉職という全く思いもよらない形で、妻と幼い子供2人を残し34年の生涯を閉じてしまいました。消防に家庭に、そして地域ボランティアにと何も



追悼の言葉 原口大臣

かもが今からという時で、さぞかし無念であったと思います。

あの日のことは月日が経ちましても決して忘れることはありません。

在りし日の消防活動に励む姿を思うにつけ悲しみは増しますが、一方、あなた方がふるさとの安全を守るという崇高な消防の使命に殉じたことは、私たちにとって大きな誇りでもあります。

私たちは、このことを心のより所とし、



追悼の言葉 後藤さん

残された家族で助け合い、消防関係の方々の励ましとご支援に感謝しながら、心をひとつにして、苦しみや悲しみを乗り越えてまいりますので、天国から温かく見守っててください。

本日は、全国の消防関係の皆様方のご厚情により、西岡参議院議長、原口総務大臣をはじめとする多数の方々のご臨席のもと、このように厳粛かつ盛大な慰霊祭が執り行われ、多くの方から、あたたかいお言

葉をいただきまして誠に有難うございました。

私たちは、今日からまた、気持ちを新たにして日々力強く生きていくことを固くお誓いいたします。

終わりに、御霊の安らかなるご冥福をお祈りいたしますとともに、本日ご参列の皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げます。



# ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 出演者紹介

財団法人 日本消防協会

平成22年5月放送分に  
出演の消防応援団  
葉師寺 保栄さん



5月1日又は5月2日放送

少し緊張しましたが、秋田市消防団のPRが出来て良かったです。消防団に興味を持っていただけたら嬉しいです。



秋田県 秋田市消防団  
団員 鈴木 信子さん

5月8日又は5月9日放送



群馬県 高崎市消防団  
分団長 野尻 重雄さん

地域との共生をスローガンとして。最近無縁社会・無関心社会と最近言われますが、自分達の地区には無縁だという自負のもと活動していきます。

5月15日又は5月16日放送

この度は、元ボクシング世界チャンピオン 薬師寺さんとの対談とあって、緊張しましたが、良い思い出ができました。

これから、地区に密着する諸活動にも積極的に参加し、結束力を示すことにより、団員確保を行っていきたいと思います。



静岡県 富士市消防団  
分団長 望月 章一さん

5月22日又は5月23日放送



香川県 善通寺市消防団  
部長 大平 洋美さん

最初は緊張しましたが、薬師寺さんの気さくなお人柄に触れ楽しくお話することができました。優しい声が今も心に残っています。ありがとうございました。

5月29日又は5月30日放送



大分県 大分市消防団  
分団長 佐藤 輝明さん

地域住民から信頼され、安心・安全な防災に努めながら、心の通うまちづくりを目指して、今後も消防団員が一丸となり、責務を果たします。

平成22年6月放送分に  
出演の消防応援団  
ガッツ石松さん



6月5日又は6月6日放送



青森県 鶴田町消防団  
部長 一戸 祐治さん

電話で会話をする前はかなり緊張して、思った事を余り話せなかったのが残念でした。

私は放送を聞き逃しましたが、遠くの親戚から「ラジオ聞いたよ。」と、連絡がありビックリ！

貴重な経験を楽しくできたことに感謝します。

6月12日又は6月13日放送



栃木県 真岡市消防団  
部長 高野 浩明さん

ガッツさん、山本アナウンサー、今回はラジオ出演という貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

これからも、真岡市の安全安心のため、消防団活動がんばり、消防団活動のすばらしさを、一人でも多くの人に知っていただき、消防団への加入者を増やしていきたいと思えます。

6月19日又は6月20日放送



石川県 金沢市第二消防団  
団員 仲谷 秀樹さん

ガッツ石松さんと楽しくお話しが  
でき元気をいただきました。

これからも、消防団活動を積極的  
に行い金沢市並びに地域に貢献して  
いきたいと思えます。

6月26日又は6月27日放送



兵庫県 芦屋市消防団  
班長 藤田 賀容子さん

ラジオでお話出来たガッツ石松  
さんの ガッツに負けないよう  
に、パネルシアターを誰にでもわ  
かりやすい作品にし、これからも  
火災予防、心肺蘇生・AEDの普及  
活動に励みます。

平成22年7月放送分に  
出演の消防応援団  
葛城ユキさん



葛城さんのリードが上手だったこともあり、あまり緊張しないで冷静に答えることができたと思います。

電話が終わった後で、余計な話もしましたかなと思いましたが、ラジオの放送を聞いたらうまく編集してありました。

最初にインタビューの依頼を受けた時には不安もありましたが、丁寧に対応して頂きありがとうございました。

7月3日又は7月4日放送



山形県 酒田市消防団  
部長 本間 留美子さん

7月3日又は7月4日放送



茨城県 北茨城市消防団  
分団長 福田 良子さん

北茨城市消防団は、発足して2年目ですが、44名の団員が地域で頑張っております。

高齢化社会の中であって今後ともマンパワーの結束で防災啓発に取り組んで参ります。

7月17日又は7月18日放送



福井県 越前市消防団  
副団長 山崎 英己さん

大変貴重な体験をさせていただき感謝致します。

消防団が、より地域に根差した活動を展開し、住民より信頼され、必要とされる消防団を目指し、頑張らしましょう！！

7月24日又は7月25日放送

このたびは、高梁市消防団をPRする機会をいただき、ありがとうございました。また、郷土のスター葛城ユキさんとお話ができ、感激です！

我々消防団が活動できるのも、地域や家族の理解があればこそ。これからも、消防団への応援を、よろしくお願いいたします。



岡山県 高梁市消防団  
班長 金島 康成さん

7月31日又は8月1日放送



大阪府 門真市消防団  
団長 樋口 定雄さん

ラジオインタビューでは葛城ユキさんと対談する事ができ、楽しい時間を過ごすことができました。

私たち門真市消防団はこれからも郷土愛護の精神で頑張っていきたいと思っております。ありがとうございました。



# 財団法人日本消防協会理事会の開催及び 生活協同組合全日本消防人共済会理事会の開催

## ■ 財団法人日本消防協会理事会

平成22年9月16日（木）日本消防会館において開催され、名誉会員の推薦等各議案の説明が行われ、原案のとおり承認されました。

- **第1号議案** 名誉会員の推薦について、新たに古田善司氏（前静岡県消防協会会長）、山本修氏（前富山県消防協会会長）、村上忠吉氏（前熊本県消防協会会長）が推薦されました。
- **第2号議案** 消防団120年記念事業について、平成25年の自治体消防65周年にあたり、この年は明治27年の消防組発足以来120年に当たることから消防団120年を記念する事業を同年11月東京ドームにおいて実施することを検討することとされました。
- **第3号議案** 保険業法等改正法案の早期成立について（要望）  
福祉共済事業等を公益法人改革に伴う新法人移行後も継続実施できるよう、法案の早期成立を政府、国会に対して要望していくこととされました。
- **諸般の報告**  
平成24年度開催予定の第23回全国消防操法大会の開催については、首都圏で開催する方向で検討を進める旨報告がなされました。

## ■ 生活協同組合全日本消防人共済会理事会

財団法人日本消防協会の理事会に引き続いて、全日本消防人共済会の理事会が開催され、平成22年度中間事業の報告が行われ、了承されました。

### 訃 報



消防応援団長の大沢啓二様が、平成22年10月7日ご逝去されました。

大沢様は、日本ハム監督などプロ野球会で「親分」と慕われ大活躍をなさってこられました。平成17年5月に結成された消防応援団では団長（代表世話人）にご就任頂き、消防団に対する深いご理解と温かいお気持ちで消防団員のいろいろな全国大会やラジオ放送などで消防団員をご激励頂き、また消防団のPRにもご尽力頂きました。突然の訃報に接しましたことは、誠に痛恨の極みであります。これまで消防団の発展にご尽力頂きましたことに深く感謝

申し上げますとともにご冥福を心よりお祈りいたします。

# 頑張れ! 少年消防 クラブ

## No.6 府中町少年少女消防クラブ【広島県】 「BFC 放水訓練・普通救命講習等の実施」

府中町消防本部 予防課予防係 佐伯 真理

8月の猛暑の中、初めて貸与された活動服を着て、実践的な訓練を実施しました。訓練内容は、規律訓練、消火・通報訓練、ホース延長・放水訓練、普通救命講習を行いました。

放水訓練では、クラブ員がホースを延長して実際に放水することで、放水圧に驚きながらも、筒先を離さないように足元に力を入れ、狙いを定めて放水していました。

普通救命講習では、クラブ員の保護者と一緒にAEDの使い方や胸骨圧迫などの講習を受けました。実際に講習を受けるのはほとんどが初めての子で、1分間に100回のリズムに合わせて、胸骨圧迫や人工呼吸のサイクルを繰り返して練習しました。自分たちの目の前で人が倒れたらどうする？という想定で、真剣に取り組んでいました。

クラブ員は、「初めての体験で難しかったけど、楽しかった。実際の活動で実践できるように今後も頑張っていきたい。」と話していました。



普通救命講習



放水訓練

# 頑張れ! 少年消防 クラブ

## No.7 能代市少年消防団【秋田県】 「結団式を行いました。」

能代市総務課防災危機管理室 主任 山本 好太郎

平成22年8月17日に、能代山本広域市町村圏組合消防本部で能代市少年消防団結団式を行い、能代市消防団の中田団長より少年消防団員6名（1名欠席）に対し辞令を交付しております。

また、中田団長から「火災や水害など数々の災害を学ぶことが私たちの命を守ることになる。能代の安全安心のため、子どもの目線で協力をしてもらいたい」と訓示がありました。

結団式終了後、支給された活動服に身を包んだ団員は、能代市少年消防団の最初の研修として、能代消防署内を見学し、署員



から消防車両の機能や通信指令室の役割などの説明を受けております。普段見ることのできない車両や、救助用具などを興味深そうに見入っていました。

今後は、月1回のペースで放水訓練や救助訓練等の研修を重ね、秋の火災予防運動や出初式にも参加し、地域防災の重要性を学んでいく予定です。



**頑張れ!**  
**少年消防**  
**クラブ**

No.8 八女市上陽少年消防クラブ【福岡県】  
「万灯流し」に参加しました。

八女消防署 上陽分署長 木附 大策

8月16日、八女市上陽少年消防クラブでは、クラブリーダーを対象に毎年町内で開催される「万灯流し」に参加しました。

この日、真新しい制服に身を包んだクラブリーダーは、訓練礼式や正しい火の使用についての講習を終え、観光協会・地元ボランティアの人達と、万灯並びに竹灯明の飾り付けや火付けを行い、訪れた人々に防火・防災を呼びかけました。

子供達の中には初めてライターを手にする子もいて、緊張した表情の子もいましたが、時間とともに笑顔へと変わり、全ての万灯・竹灯明に火を灯し終えたクラブリーダ

ー達は、美しい風景に感動し、充実感の表情を浮かべていました。

制服も新たになり、リーダーとしての自覚も高まり、今後のクラブ活動や将来、地域の防災リーダーとしての期待もより一層ふくらみました。

今回の活動は、全国一斉に展開される秋季火災予防運動を前に、地域住民の防火・防災に対する意識の高揚を図る良い機会となりました。今後もクラブリーダーを中心にクラブ員一丸となり、地域住民に対する防火防災のアピールに力を入れていきます。



**頑張れ!**  
**少年消防**  
**クラブ**

No.9 田村市立大越中学校消防クラブ【福島県】  
「田村市立大越中学校消防クラブの活動について」

田村市立大越中学校 教頭 森川 幸治

田村市立大越中学校消防クラブは、大越中学校の全校生徒で編成しており、今年度のクラブ員は158名です。クラブ発足は平成17年4月です。22年度は少年消防クラブ活性化推進会議より全国55の「モデル少年消防クラブ」の1つに選ばれ、20着の活動服の支給もありました。8月にはこの活動服を着用し、郡山消防署で行われた少年消防クラブリーダー講習会に2名が参加し、ロープの結び方やAEDの操作、消火器の使用法を学びました。さらに、夏休みが明けてからは、1・2年生が地元の田村消防署員の指導の下に、規律訓練（自主整頓、点呼、回れ右、3歩前進）やロープ結策法（本結び、一重結び、もやい結びなど）、消火器の使用法を学んで

います。この訓練の成果は、9月に行われる田村地方自衛消防操法大会の場でも披露することになっています。今後を導入されるD級小型可搬式ポンプの操作を身につけたいクラブ員も多く、今後さらに充実した活動ができそうです。





特別表彰「まとい」を受章して

## 「安心安全なまちづくり」にむけて

熊本県菊池市消防団 団長 岩木 憲文



### はじめに

平成22年2月10日に行われた第62回日本消防協会定例表彰式において、消防団最高の榮譽であります特別表彰「まとい」を受章しました。全国の数ある消防団の中から当市消防団が受章できたことは、我々消防に携わる者にとりましてこの上ない喜びであり、誇りとするものであります。

これもひとえに、市民の皆様の消防団に対するご理解とご協力、さらには日本消防協会をはじめ、熊本県、熊本県消防協会、消防関係各位のあたたかいご支援、そしてこれまで歴史と伝統を築き上げ、市民の安全を守り続けてこられた諸先輩方とまた支えてこられたご家族の皆様に対しまして、深く感謝申し上げる次第であります。

### 菊池市の紹介

菊池市は、平成17年3月22日に菊池市、菊池郡七城町、旭志村、泗水町が合併しました。面積は276.66km<sup>2</sup>、人口約51,700人の都市で、熊本県の北東部に位置し、北部の八方ヶ岳から東部の阿蘇外輪山の鞍岳まで山岳が連なっており、地域の大半を森林が占めています。それら山岳からの豊富な水が菊池川本流をはじめとして豊富に流れており、菊池平野を潤し、肥沃な土地を形成する、緑豊かな自然と古い歴史、伝統、文



祝賀会

化を誇る都市です。

その豊かな自然を生かした農林業を基幹産業としており、県内一の生産量を誇るシイタケ、米、メロン、食肉牛などはブランド化され県内外へ出荷されています。また、毎年40万人の観光客が訪れる菊池渓谷や泉質が好評を得ている菊池温泉のほか、各地に桜、コスモス、ホタルなどの四季を彩る自然や菊池一族の歴史と伝統を物語る観光スポット、レジャー施設を有しており、県



操法大会

内外から多くの観光客を集めています。

## 菊池市消防団の紹介

旧四市町村合併に併せて、市消防団も合併し、現在の体制は4方面隊15分団及び女性消防隊、市職員で構成する本部機動隊で定員1,632名で構成しております。装備は消防ポンプ自動車2台、小型動力ポンプ付積載車106台、小型動力ポンプ38台を保有し、火災発生時の万全な初期消火体制を図っております。

元々、消防団活動が活発な市町村が合併したため、消防団活動は「自らの郷土は自らで守る」の精神が伝統的に根強く受け継がれています

それが顕著に感じ取れるのが操法大会です。特に県大会が開催される年は、各方面隊で予選会を行い代表チームを選定します。その代表チームだけが市の本大会に出場し、優勝チームを県大会に推薦するため、毎回レベルの高い大会となります。また熊本県では昨年「女性消防操法大会」も隔年で開催されることとなり、いままで操法をやったことのない女性団員でしたが、積極的に訓練を行い大会に出場しました。

その厳しい訓練の中で、火災現場で生かせるような技術の習得や命令系統の強化、さらに団員同士の連帯感を深めていくことができていると考えております。

## おわりに

近年における災害の複雑化・大規模化の傾向を強め、自然災害をはじめとする予測しがたい災害が増大しております。本市においては、近年人命を脅かすような災害は発生しておりませんが、いつどこで発生す



出初め式

るか分からない災害に迅速に対応できるような体制を整えておかなければなりません。そんな中、本市でも少子・高齢化がすすみ、また団員のサラリーマン化や市外勤務の団員が増え、平日の昼間の実動団員の確保が厳しい状況になってきております。

そこで本年度から、自営業をされている消防団OBの方に入団していただき、その地域で発生した災害時に出勤していただく「支援団員制度」を設け、初動体制を迅速にとれるよう整備しました。これからも地域のご協力を仰ぎながら、消防・防災活動に精励し、「安心安全なまちづくり」にむけて地域の期待に応えていきたいと考えております。

この度の「特別表彰まとい」の受章を更なる励みとして、これからも菊池市消防団が一丸となり、「市民の身体・生命・財産を守る」という使命を胸に秘めて、この受章に恥じないよう、市民に期待に答えていけるよう努力していきます。

最後になりましたが、この受章にあたり格別のご高配を賜りました各関係者の皆様のご更なるご発展とご活躍を祈念いたしまして、受章のご挨拶とさせていただきます。



## 「地域の安全・安心のために」



鳥取県境港市消防団 団長 船木 伸一

### 1. 境港市の紹介

境港市は、鳥取県北西端の弓が浜半島北部に位置し、三方が海に面した自然条件のもとで、海を生かした産業基盤の整備が進められており、とりわけ漁獲水揚量においては平成4年から5年連続して全国第一位を記録しました。

更に、昨年6月には境港と韓国の東海港、ロシアのウラジオストク港を結ぶ環日本海定期貨客船航路も開設されました。

一方、市内に立地する米子鬼太郎空港は、平成13年からは山陰初の国際定期航空路として「米子—ソウル便」が就航しました。

平成16年に島根県松江市と結ぶ江島大橋が開通し、平成17年には中海・宍道湖がラムサール条約に登録されたことなどを契機に、県境を越えた連携気運が一層高まり、中海圏域の一体的な発展が期待される中、港湾と空港を有する境港市は、中海圏域の窓口として重要な役割を担っており、「北東アジアに向けたゲートウェー」をめざし、環日本海交流の拠点都市を目指した事業に取り組んでいるところです。

また、境港市出身の漫画家・水木しげる氏の作品に登場する妖怪のオブジェなどを



設置した「水木しげるロード」は、平成5年から8年にかけて全線開通しました。15年には「水木しげる記念館」も完成して一層の賑わいを見せています。今年には既に年間200万人の観光客を迎え、「さかなと鬼太郎のまち境港」を全国に情報発信しています。

### 2. 境港市消防団の概要

境港市消防団は、昭和29年の町村合併により境港町消防団として統合し、2年後の昭和31年、市制施行に伴って境港市消防団に改称。現在、本部以下6分団で構成され、定数116名に対して107名（うち女性5名）の団員を有するとともに、消防ポンプ自動車6台を配備して各管轄区域の防災活動にあたっています。



### 3. 境港市消防団の活動

- 4月 分団長会議
- 5月 消防ポンプ操法訓練
- 6月 境港市消防ポンプ操法大会
- 7月 鳥取県消防ポンプ  
チビッコ消防団訓練  
みなと祭特別警戒
- 8月 盆特別警戒
- 11月 秋季火災予防運動 防火パレード
- 12月 年末特別警戒
- 1月 消防出初式
- 3月 春季火災予防運動 防火パレード

7月に行われるチビッコ消防団訓練は、小学生を対象に放水体験、119番通報体験、防火衣試着、はしご車搭乗等を通して、消防活動を広く紹介するイベントとして例年行っています。

また、平成21年度には境港市消防団として初の女性消防団員が5名誕生しました。現在、火災予防、住宅用火災警報器の普及活動、応急救護講習を中心に女性ならではのきめ細やかな活動を展開しており、今後も魅力ある消防団づくりのひとつとして、女性消防団員の育成、組織強化を図っていきます。

### 4. 終わりに

境港市消防団は、常備消防と連携を図り、それぞれの地域に密着した防火防災活動をめざしていますが、近年の消防団状況は市外に職場を持つ被雇用者の団員、団員の高齢化、少子化等により人口が減少しているなかでの団員確保など、消防団を取り巻く環境は次第に厳しくなり、近い将来、消防団活動に影響を及ぼすのではないかと懸念



されています。

しかし、市内随所で発生する災害には地域住民と密接な関係のある消防団の役割は重要であり、上記課題を克服するほか、さまざまな災害に対応できる知識・能力の習得など市民から期待される消防団づくりをすすめ、全団員が一致団結し地域住民の安全・安心を守るため、努力を重ねてまいります。



「熱き心で郷土を愛し、  
郷土を守る。」



埼玉県熊谷市消防団 団長 新井 正夫

## はじめに

埼玉県熊谷市は、東京都心から50～70キロメートル圏に位置し、ほぼ平坦で荒川や利根川の水に恵まれた肥沃な大地と豊かな自然環境を有し、その区域は、南北に約20キロメートル、東西に約14キロメートルで、面積は159.88平方キロメートルです。人口は、205,486人（H22.8.1現在）で県北では最大の人口を有しております。

平成21年4月1日には、より自立性の高い権限をもつ「特例市」へ移行しています。

平年の年間平均気温は14.6度、降水量は1243.2ミリメートル、日照時間は2007.2時間、平均風速は2.4メートルであり、温暖で、自然災害も少なく過ごしやすい気候といえます。

平成19年には、日本最高気温40.9℃を観測し、「あついぞ熊谷」を全国に発信する発端となりました。

また、快晴日数も日本屈指と言われており、太陽エネルギーの活用が期待されています。

## 1 熊谷市消防団の紹介

熊谷市・妻沼町・大里町が平成17年10月に合併し、続いて江南町が平成19年2月に合併したことにより4消防団が統合さ

れ、熊谷市消防団として発足しました。熊谷市消防団は34分団・528名（条例定数）で組織し、活躍しています。

消防団は、消防署と同じく「消防組織法」に基づいて設置される自治体の消防機関です。団員は、各自の仕事をもちながら「わがまちを災害から守る」という使命感のもと、地域の防災リーダーとして幅広い活動を行っています。

消防団は、地域に密着した最も身近な機動力のある防災機関として機能しています。地域の実情を知っている地域住民が、消火訓練・応急救護訓練などを通じて災害に備えるほか地域の防災訓練にも参加して防災行動力の向上を図っています。万が一、災害が発生した場合、消防団は自主防災組織・自治会などと連携して情報収集に当たるとともに、その情報をもとに消防署と連携して消火・救出・救助等に迅速かつ的確に対応します。



## 2 熊谷市消防団の活動

熊谷市消防団では、毎年、4月上旬の辞令交付式において新入団員を任命、その新戦力を加えて新年度の活動を始めています。

消防団員の公務災害防止及び活動能力向上等のため、消防本部や埼玉県消防学校で開催される訓練や教育研修に多くの団員を参加させています。

平時の活動の一つとして、火災予防並びに放火防止対策を推進するため、分団車にて地区内を巡回し、広報活動と消防警備を行っています。

また、熊谷市で行われる花火大会等の行事の警備や市内各地で開催されるお祭り等の警備を実施しています。

多くの消防団員が水防団員を兼務しているため、例年7月に荒川南縁、荒川北縁、利根川の3つの水防訓練に担当地区に沿って参加し、水防活動の基本となる工法を実施しております。

訓練の年間の総まとめとして11月上旬に、埼玉県消防協会熊谷支部消防特別点検を行い、服装点検・消防操法・ポンプ車による一斉放水訓練等を実施しています。

## 3 女性消防団員の発足

近年の社会情勢の変化によって、市民の消防行政に対する要求は多様化・高度化の方向に進んでいます。こうした状況の中で、今後の消防団の活動において、女性の活動による防災予防活動及び災害時後方支援など、女性特有の優しさやきめ細やかな配慮などを必要とするため、平成20年度に17名の女性消防隊員が入団し、分団として活動を開始しました。現在は16名の団員（定数



20名) が消防団が行う主要行事への参加、火災予防等に関する広報・啓発活動及び救急救命普及・指導等の取り組みを行っています。

また、平成23年度に開催される第20回全国女性消防操法大会への出場を目指し、軽可搬ポンプ操法訓練を8月より開始しました。

## 4 終わりに

われわれ熊谷市消防団は、「地域は地域で守る」という郷土愛に燃え、市民の皆様から信頼される消防団を目標に、各消防防災関係機関や自主防災組織等と協力しながら、市民の生命・財産や文化財の保護のための火災防ぎょ訓練等を行い、災害に対する知識・技術の練磨に努め、災害のない明るい安心、安全な熊谷市、そして地域づくりに貢献してまいります。





# 「机上から実践へ」 ～地域間の温度差解消に 向けて～



愛媛県宇和島市消防団 団長 三森 計典

## 1. 宇和島市の紹介

宇和島市は、愛媛県西南部に位置しており、北は西予市に、東は鬼北町・松野町、南は愛南町・高知県宿毛市・同県四万十市に接しています。

西は宇和海に面し、入江と半島が複雑に交錯した典型的なリアス式海岸が続き、5つの有人島と多くの無人島があります。東側の鬼ヶ城連峰は、海まで迫る急峻さを備え、起伏の多い複雑な地形をしています。海岸部の平野や内陸部の盆地に市街地や集落が点在し、河川の多くは宇和海へ注いでいますが、三間川は清流四万十川に合流して高知県へ流れています。

有人島を含めた東西が38.15km、南北が34.94kmあり、面積は469.48平方kmで、そのうち森林が70.9%、田畑が17.3%、宅地が2.9%を占めています。

気候は、瀬戸内地区と太平洋沿岸地区の中間に位置して、年平均気温は16～17℃で四季を通じて温暖であり、降水量は夏期に多く、梅雨前線の影響や台風の通過が多い年では年間2,500mmを超えることもあります。また、西側が豊後水道に面し、東側に1,000m級の高峰が連なることから、冬期は北西の季節風が吹き、海岸部と山間部では気温や降水量の差がみられ、山間部では積雪や結氷もみられるさまざまな気候をあわせもっています。



## 2. 消防団の現況

平成17年8月1日、旧宇和島市・吉田町・三間町・津島町が合併し、新「宇和島市」が誕生すると同時に、宇和島市消防団として新たに発足しました。

1 団本部 4 方面隊 27 分団（団員定数 2,334 名）で構成されていますが、平成22年4月1日現在では、消防団員の実員数が2,215名となっています。

50数年前には全国で200万人いた消防団員も、現在では90万人を割るほどに減っている中で、県下一の基本団員数は、自慢のひとつですが、地域経済の低迷による若者の流出、少子高齢化もあり団員確保は、

年々難しくなってきました。

最近においては、女性消防団員の確保にも力を入れています。しかし、「自分たちの地域は、自分たちで守る」という地域に根ざした力強い組織として、今後もしっかりとした活動が展開できるよう、消防団員の確保は、地域全体の問題であり、様々な機会等を捉え確保に努めているところです。

### 3. 消防団の活動

教育・訓練等については、各方面隊主導で行い、それぞれ成果をあげているように思いますが、意識に温度差があるのも事実です。まず、この解消のため毎年、愛媛県消防学校から教官を招聘し団組織としての幹部教育訓練の場を設け、団員相互の意識確認と消防団幹部としての掌握技量及び時宜に即した決断と実行力を着実に養い、団員相互の共通した認識のもと、各種訓練を展開し、団員数だけ多いのではなく、個々が実力を備えた盤石の団「宇和島市消防団」としていく所存です。

防火啓発等の活動では、一人暮らし高齢者宅の防火訪問や幼稚園及び保育園を訪問して防災寸劇を披露するなど幅広い活動を展開しています。

女性消防団員の活動としては、毎月の訓練等と合わせて常備消防が行う普通救命講習の指導補助として、毎月各地で救命技術の普及に取り組んでいます。

### 4. 終わりに

宇和島市消防団では、常備消防と強固な連携を保持することができており、今後もこの連携を尊重して、日々の防災啓発活動や災害時の防御活動に取り組まなければならないと考えております。



また、我が地域では南海地震による大災害の心配があります。南予特有のリアス式海岸であり、最大5.3mの津波が予測されている中、住民をいかに迅速・安全に避難させるかが問われています。より一層、正確な情報周知や避難誘導訓練に力を入れていきます。

結びに、先人たちが常に持っていた「纏魂」を消すことなく、大きく天に掲げ、地域防災の要として活躍できる組織作りを目指して頑張ってまいります。



## 「始良市誕生と 消防団の再編」



鹿児島県始良市消防団 団長 七反田 正勝

始良市は、平成22年3月23日に、3町（蒲生町・始良町・加治木町）合併により誕生したばかりの市です。

面積231平方km、人口7万5千人を超え、人口で見ると鹿児島県で5番目に大きな市となりました。

錦江湾奥の薩摩半島と大隅半島の分岐点、県のほぼ中央部に位置しており、南には錦江湾に浮かぶ桜島を望む風光明媚なところです。一方、国道10号、九州自動車道、東九州自動車道が交差し、国道10号から鹿児島空港への入口にあたるなど交通の要衝でもあります。

昭和63年に環境庁の巨樹・巨木林調査で日本一に認定された八幡神社の「大楠」や日本の滝百選に選定された「龍門滝」は実に雄大で感動を覚えます。また、西南の役で西郷軍が進軍した「白銀坂」と「龍門司坂」は国指定の文化財で、先人達がどんな気持ちで歩をかさねたのか想いを馳せながら散策されてはいかがでしょうか？

さて、3町合併ということで、旧町時代の消防団の沿革と統合までの流れを簡単に述べます。

旧加治木町は、明治21年に私設消防組として発足し、昭和22年に公設消防団として発足しました。明治21年以降今回の合併までに19人の団長が就任し、団員は6分団で162人。旧蒲生町は、明治27年に旧蒲生村消防組を設置、昭和22年に蒲生町消防団となり、昭和45年8月に役場分団を設立、11分団170人。旧始良

町は、昭和30年に帖佐町・山田村・重富村の1町2村、12分団が合併し始良町消防団とし



て発足。昭和39年に町役場職員のみで組織される本部分団が加わり13分団209人でした。

合併後も分団、団員の増減はなく30分団541人となり現在に至っております。

合併前の消防団は、3町とも大体似たような活動でしたが、いざ合併するとなると、いろんな面で微妙に異なるところがありましたので、先に合併した隣市の霧島市消防団や伊佐市消防団・湧水町消防団を参考にしながら、幾度も幹部会を開き合併協議を重ねてきました。

最初に協議したのが幹部体制の確立についてでした。協議会の案である連合方式に先行する形で、団長1・副団長2（この3名が旧町の団長）の体制をとりました。また、旧町独自の活動が維持できるように、方面隊方式を採用し、それぞれの方面隊活動の際には方面隊長（旧町の副団長）に指揮をしてもらうようにしました。

また、同時に分団再編も進めておりましたので、合併後6カ月後の本年9月末をめどに再編を完了することとし、現在努力しております。

再編にあたっては、火災出動体制につきましても差異があり、一部変更しました。また、操法練習にしても費用や日数の違い、各種訓練の有無、種類の違い、意識の違いなどがあります。

財政難の中で簡単には解決できない問題もあり、これからも厳しい調整が待っています。

私としては、別に本業を持ちながらも消防団活動に尽瘁する団員のために、ひと肌もふた肌も脱ぐ覚悟ではありますが、厳しい現実もあり複雑です。

5月に開催した第1回の分団長会で「逼迫した財政状況に対処するために合併したという厳しい現実がある。」ということ認識していただく一方、私達、消防団幹部としては、最大限の努力をするが、その結果については、受け入れていただくようお願いしたところです。



ところで、解決していかなければならない問題も種々ありますが、その間、消防団の活動に支障を来すことがあってはなりませんので、いつでも対処できるように努めております。本年6月の豪雨の際には、市内2地区に初めて避難勧告が出されましたが、避難誘導や市内の危険地区の巡回など、新消防団としての活動が円滑に遂行できたものと思っています。

また、消防団事務担当部署が役場から市消防本部に移ったことにより、常備消防との連携がとりやすくなったと思います。

スタートしたばかりの始良市消防団ですが、市民の生命・財産を守る消防団の理念を大切にしながら、市長の市政運営の理念とされている「県内で一番暮らしやすいまちづくり」の実現のため541人の団員とともに邁進しようと考えております。

近くにお越しの際は、ぜひ始良市にお立寄りください。おじゃったもんせ！



## シンフォニー（長野県） 「真に男女が共生する 消防団を目指して」

長野県松本市消防団 第21分団 団員  
吉村 結城子

松本市は長野県の中央部に位置し、平成の大合併（平成17年に4村、同22年に1町）を経て、市域は西の飛騨山脈から東の筑摩山地までと、県内で最も広大な市となりました。人口は約24万人。「文化薫るアルプスの城下町」というキャッチフレーズが示すように、国宝松本城を中心とする城下町で、上高地や温泉など豊かな資源に恵まれた観光都市でもあります。さらにもう一つ忘れてはならないのは、酒蔵数で全国第2位を誇る長野県にあって、「信州松本の地酒で乾杯」運動もあるほど酒文化豊かな地です。

松本市消防団は本団および41分団から構成されており、団員数は2,116名（平成22年7月1日現在）。女性団員は76名（うち48名は機能別分団員）で、火災予防や救護を主な活動とする女性部所属の女性団員と、地元の分団に所属する女性団員とに分かれます。

さて、私は、長野県消防ポンプ操法大会に向けた練習で、指揮者として初めて号令をかけた瞬間を生涯忘れることができないでしょう。「集まれ」。自分が発した声の大きさに、我ながら驚きました。自身の意外な一面に、戸惑いを覚えた瞬間であったともいえます。「操法は、最初

の掛け声で決まる。自分の部隊をまとめあげる気合いを、その瞬間にぶつけるんだ」。先輩からのアドバイスが効を奏していたに違いありません。

大学卒業後も都内の司法試験受験塾に通学しながら法律の勉強を続けていた私が、体調を崩して帰郷してから6年になります。人生の大きな目標を見失いかけていた私に、ある日、何を思っか知人が声をかけてくれました。「お前にピッタリ場所がある」。連れられて行った先は、何と消防団の詰所でした。自分に何ができるかはよく分かりませんでした。消防団の精神に心打たれ、仲間のできそうな雰囲気にも魅かれて、入団を申し込みました。

入団して、見習い、勝手番、広報係と夢中で取り組んだ5年間を経て、今後の身の振り様に一抹の不安を覚え始めていた半年





前のこと、近所で大火災が発生しました。親しい人の大切な店舗併用住宅が燃えるのを目の当たりにしながら、思うように動けない自分……私は、自身の無力さを嫌と言うほど思い知らされました。「現場で役に立たない私など、消防団を辞めるべきではないか」。悩んでいた矢先に、長野県消防ポンプ操法大会（小型ポンプ操法の部）に出場する話を耳にしたのでした。

同じ分団の後輩女性団員と相談を重ね、結婚式を間近に控えた彼女の「結婚して家事や育児で忙しくなる前に、精一杯やっておきたい」という一言によって、出場を決意するに至りました。女性は、婚家やパートナーの都合によって居住地域が変わる可能性が高い上に、出産などで活動を休止せざるを得ない時期がやってきます。「生涯を通じて地に足のついた団員になるには、今しかない」という気持ちに突き動かされて、操法大会の選手に自ら名乗りを上げました。

我が国では、間もなく第3次男女共同参画基本計画が策定されるとのことです。先ごろ男女共同参画会議から内閣総理大臣宛に提出された「第3次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方」という答申を見ると、「防災における男女共同参画の推進」という新たな強調項目が目を引きまします。

長野県の女性消防団員数は平成21年現在811人で、全国第4位。男女共同参画の流れを受けた参加意識の高まりもあって年々増加していると聞きますが、少子高齢化や過疎化の進行などにより消防団員数の減少が進む中で、女性団員の活躍に期待が寄せられているのを実感する次第です。

しかしながら、他の自治体の女性団員との意見交換会などに出席すると、決まって週上に上るのが、活動継続の困難さや男性



団員との隔たりといった問題点です。数合わせや建前に執着するのではなく、「真に男女が共生する消防団」を具体的に目指すべき時が訪れているのではないのでしょうか。

8月1日（日）、塩尻市で開催された長野県消防ポンプ操法大会における松本市消防団女性団員小型ポンプ操法隊の発表は、大成功に終わりました。会場はとてつもなく広い上に、全県から集まった数え切れないほど多くの方々が見守る中での操作でしたが、我がチームは全員すこぶる冷静で、練習時より落ち着いていたようでした。女性は男性に比して瞬発力が乏しいなどと聞き、悔しさをバネに入念に繰り返した厳しい練習が、納得の行く出来映えにつながったと思います。

ポンプ操法に明け暮れて、2010年の夏は過ぎていきました。私は今、記録的な猛暑の夏を全力で駆け抜けた充実感に浸っています。「長い人生に一度くらい、こういう夏があってもいいさ」。

私たち女性団員にこのような機会を与えて下さり、熱心にご指導下さった関係各位ならびに諸先輩方に、深く御礼を申し上げます。また、気持ち良く協力体制を組んで支えて下さった男性団員の皆様方に、心からの謝意を表します。

将来、どんなパートナーを得て、どこに住まいしようとも、私は消防団員でありたいと願っています。



## シンフォニー（島根県）

### 「地域に根ざした活動を」

島根県安来市消防団 広瀬方面隊 団員  
藤原 聖美

安来市は、島根県の東の玄関口として、鳥取県との県境に位置し、全国的に有名な「安来節」の発祥地として、また世界に名高い「ヤスキハガネ」の生産地として、昨今ではNHK連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」のふるさととしても有名なところですが、

安来市消防団は、平成十六年十月の市町村合併により、それまであった安来市、広瀬町、伯太町のそれぞれの消防団が合併してできており、現在三つの方面隊の中に十六分団が組織されています。団員数は七五三名、うち女性団員は十六名と少ないですが、私たち女性団員の活動についてご紹介させていただきます。

安来市の広瀬地域は、「ジョーホーひろせ」という有線放送が整備されており、毎

日放送される番組の中に「ふれあい一一九」というコーナーを設けています。この番組は、女性ならではの目線で、家庭の中の火災予防について啓発を行うことを目的に行っています。女性団員自ら原稿を考え、また放送するというもので、毎月団員が交代で行っています。普段あまり掃除をしないコンセントのほこりが火災原因になることや、冬場の屋内での洗濯物の干し方の注意や、タコ足配線の危険性など、身近な事例を取り上げて、住民のみなさんに注意を促しています。

市民の方からは、「こないだの放送を聞いたよ」とか、「聞いてよかったら、参考になったわ」と声をかけていただくことが、励みになっています。





また、消防署の防火査察に随行して、春と秋の年に二回、一般の世帯を訪問しています。実際に自分の足でまわることによって、市民の火災予防に対する取り組みについて直接話を伺うことができ、団員自身も認識を新たにしています。高齢者世帯の方などは、「天ぷらを揚げないことにしている」と、徹底した取り組みを行っておられます。反面、市街地の高齢化、独居世帯の増加を身にしみて感じ、防火を呼び掛けるこの訪問は、今後も継続していかなければならないと痛感しています。

女性団員は二十代から五十代まで、独身から子育て世代まで年齢層は幅広いですが、様々な消防団の行事にも参加し、また住宅への設置が義務付けられている住宅用火災警報器設置の補助事業のPRなども行いながら、団員同志交流を深めています。

私たちは、火災現場へ行くことも、操法を行うこともありませんが、女性ならではの目線で、まずは家庭から守っていく防火活動を、今後も展開していきたいと考えています。



# 7・15豪雨災害を振り返る ～得たものと失ったもの～

岐阜県可児市消防団 団長 小澤 修二



## 1. 可児市の概要

岐阜県の中南部に位置する本市は、面積87.6km<sup>2</sup>、人口101,651人（平成22年9月現在）、名古屋市および県庁所在地の岐阜市から30km圏内にあり、北部はおおむね平坦で、南部は県下最大級の工業団地、住宅団地やゴルフ場が点在する丘陵地となっています。また、市の北端部には日本ラインとして名高い木曾川、中央部には東西に流れる可児川があり、豊かな自然環境に抱かれています。

## 2. 消防団組織

団員定数343名、団長、副団長3名、4分団16部で構成されています。団員は有事の消防活動のほか、防火・防災の啓蒙活動を行っています。また、団員相互の連帯意識の高揚、親睦と融和を深めながら互いに切磋琢磨して、やがては任期満了とともに地域の次代の防災リーダーとして巣立っていきます。

消防本部及び消防署は管内2市7町1村で構成される可茂消防事務組合が常備消防として運営しています。

## 3. 災害における消防団活動

平成22年7月15日は、昼過ぎから雷注意報が発令されていました。16時ごろから雨が降り出し、17時までの1時間に63mm/h、その後最大で91.5mm/h、降り始めから7時間の雨量が270mmに達しました。

消防団は、17時ごろから地域のパトロ



写真提供 国際航業㈱



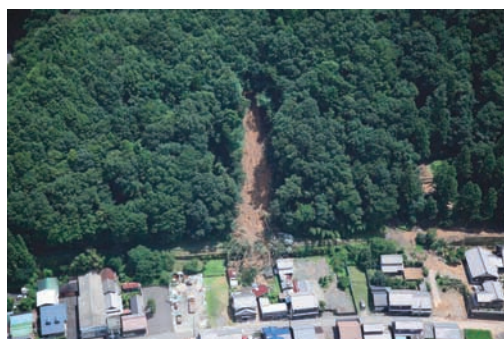
ールや被害状況の確認、土のうづくり、冠水で通行できない道路の交通整理、土砂撤去などを行っていましたが、市内各所で家屋の浸水、道路冠水、土砂崩れの被害報告が市役所に続々と入り、さらなる危険性が高まったため、19時に災害対策本部が設置され、私は災害対策本部に参集しました。

その後、土砂災害警戒情報が出され、可児川の水位も急激に高くなり、20時過ぎに全市に避難勧告が発令されました。消防団は、避難誘導、広報活動を行いました。依然として雷雨が強くと避難所へ行くのも大変な状況でしたので、団員には二次災害にあわないよう注意を促しました。

20時頃に、市道と鉄道が交差するアンダーパスでトラックと乗用車数十台が流され、男性2名女性1名が行方不明になりました。この現場付近では、床上浸水で避難できずに取り残されていた親子を団員の迅速な対応により無事に救出することができました。

22時半過ぎに可児川が決壊したとの情報が入り、周辺地区に避難指示が発令されたので、該当の部に避難誘導、広報活動を指示しましたが、後日、腰まで水につかりながら広報したとの報告を受けました。

23時ごろには雨は小降りになり、全団員をアンダーパスの冠水現場に集めて排水作業にあたらせました。翌7月16日8時過ぎまで排水作業を行いました。行方不明者の車は見つからず捜索活動の準備に入りました。各部長に今後の活動内容を説明して、僅かの休息後、11時に捜索本部を設置し、警察、消防署、消防団とで捜索範囲を決め行方不明者3名の捜索活動に入りました。消防団の捜索期間は5日間と決めてありま



写真提供 国際航業(株)



したが、各自仕事のある中で多くの団員が出動してくれました。

捜索3日目になると、可児川の水位も下がり本格的な捜索を行うことができ、行方不明者1名の遺体を発見しました。残る2名の行方については、木曾川下流まで範囲を広げて捜索しましたが、有力な手がかりも見つけることはできませんでした。団員



は、大変な猛暑にもかかわらず本当に頑張ってくれました。

7月18日には、菅首相が災害地視察に来られ、消防団の災害活動に対し激励のお言葉をいただきました。

災害発生の7月15日から6日間延べ815名の団員が、住民の命を守るため懸命に活動してくれた姿が特に印象に残りました。残念ながら行方不明者2名の発見には至りませんでした。消防団としての職責を十分に果たしてくれました。

#### 4. おわりに

まさか本市でこのような災害が発生するとは思っていませんでした。自然の恐ろしさを目の当たりにして、計り知れない脅威を感じました。

近い将来必ず起こる大地震、今回のような局地的で短時間の集中豪雨、想定以上の災害が発生することを念頭に活動してまいりたいと思います。この災害を通じて、団員一人一人が自然災害の怖さを知識ではなく身をもって体感できたことは、今後の防災活動に大きな財産を得られたと考えています。そして再び尊い人命を失うことのないよう、この経験を生かしていきたいと思っています。

最後になりましたが、今回の災害に際し、財団法人日本消防協会をはじめ各方面からのご支援ご協力に対しまして、心から厚く御礼を申し上げます。



## 住警器Now! ～第4回～

# 集合住宅の管理組合における住警器の設置促進活動

(東京都江戸川区)

総務省消防庁 予防課

### ～イントロダクション～

- 住警器の普及において、特に集合住宅においては、管理組合や自治会といった組織が中心となり設置を進めることで、設置率向上に大きな効果を上げているケースが見られます。
- 今回は、1,300戸以上が入居する大規模な集合住宅において、管理組合が主体となり設置を進めることで、設置率100%を達成した事例を紹介します。

#### (1) 地域・取組主体の概要

なぎさニュータウンは、7つの棟に1,324戸、約3,800人が居住する大規模な集合住宅である。

なぎさニュータウン管理組合は、昭和52年の第1次入居と同時に区分所有者によって設立され、建物・設備等の自主管理を行っている。自治会とともに設置した「なぎさ防災会」は都市部のマンションには珍しい自主防災組織として活躍しており、管理組合や葛西消防署等との関係機関と連携して防災計画を進めている。

#### (2) 共同購入の取組概要

消防法の改正に伴い平成18年から住警器の設置義務化が開始されたことを受け、直ちに全戸への設置推進の検討を開始した。管理費から予算を確保し、必要設置数の調査等を経て、平成20年に必要な住居への配布を行った。

配布にあたっては、11階以上等、既に自動火災報知設備等が設置済であった区画を除き、809戸を対象に実施。希望した入居者には設置の支援も行い、100%の設置（空室・長期不在の住居を除く）を実現した。

取組主体	なぎさニュータウン管理組合
人数等	1,324戸、約3,800人が入居
消防署等	葛西消防署
職員数	183人
地域	江戸川区（特別区）
人口/世帯数	65万3,944人/28万1,705世帯
キーワード	●広報・周知 (掲示物・配付物、説明会) ●必要数確認の工夫 ●共同購入 ●購入補助 (会費等からの支出) ●設置支援

普及期

平成18年6月 管理組合の理事会・委員会において予算化実施  
工夫点  
①地域における日頃からの防災意識啓発

展開期

平成20年3月 共同購入した住警器の配布・設置  
工夫点  
②共同購入による住警器の安価な購入  
③丁寧な調査による必要個数確認  
④希望者への設置支援  
⑤配布時の説明会実施  
⑥聴覚障がい者用に補助警報装置の転換

#### (3) 工夫点の紹介

工夫点①：地域における日頃からの防災意識啓発

##### ●実施内容

なぎさニュータウンにおいては、日頃より、地域全体で防災意識啓発の活動を行っている。管理組合のほかにも、阪神・淡路大震災を機に自主的に組織された「なぎさ防災会」があり、有志が集まった約140名の住民により、災害時のシミュレーションを行う訓練、キタコン（帰宅困難者体験）ウォーク、お祭

りを通した啓発活動等、防災に関する積極的な意識啓発活動を行っている。

こうした高い防災意識を持って日頃より活動している背景もあることから、管理組合の理事会・委員会において住警器の予算化について検討を行った際も、スムーズに導入の意思決定を行うことができた。

#### ●ポイント

住警器の設置においては、何らかの形で入居者が費用負担をしなければならないケースがほとんどであり、普及促進における障害のひとつとなっている。

入居者が出費し、住警器の購入・設置を行う行動に至るためには、入居者の高い防災意識が不可欠である。この事例においては、事前に拠出された管理費からの購入であるが、スムーズに意思決定が行えた背景には、日頃からの防災意識啓発の働きかけによるところが大きい。

また、11階以上の居室においては既に自動火災報知設備等が設置されており、その点検・保守費用は管理費から支出されていることから、公平性の面からも管理費での購入となった。

また、この事例においては、導入の意思決定及び住民への広報が早かったため、自主的に購入した住民がなく、全体的にスムーズに設置が進められた。早く取組を開始する際には、情報が少ない等の困難が伴う一方、この事例のように取組の舵取りが行いやすいというメリットがある。

#### 工夫点②：共同購入による住警器の安価な購入

##### ●実施内容

管理組合が主体となり、共同購入による住警器の安価な提供を実施した。住警器単体の価格だけでなく、設置費用も含めて低価格の業者の選定を行った。

##### ●ポイント

購入価格については、他の事例と同様、取りまとめて大量購入を行うことにより、一台あたりの購入価格を抑えている。

また、この事例では、設置支援の希望者を募った結果、73.4%の入居者が申込みを行った。そのため設置費用も含めた価格で業者選

定を行ったことが功を奏し、全体的な購入費用の抑制に成功している。

#### 工夫点③：丁寧な調査による必要個数確認

##### ●実施内容

物件ごとの必要設置個数を把握するため、調査票による調査を実施した。各部屋の間取りは管理組合で入手可能な資料である程度把握できるものの、リフォーム等で間取りが変更になっているケースもあり、設置対象の居住者に、自宅に必要な個数を計算して頂いた。当初は返答のない入居者も存在したが、粘り強く何度も依頼を実施し、調査票の回収を行った。

##### ●ポイント

共同購入において、各戸の必要設置個数の見積りは大きな課題のひとつといえるが、この事例においては、調査票に必要個数を記入して提出して頂く方法により、それぞれの住居における必要設置数の把握を行っている。調査票では、「3LDKの場合、4個」といったように、住警器の必要設置数を分かりやすく理解できるよう、工夫が施されている。

#### 工夫点④：希望者への設置支援

##### ●実施内容

設置を希望する入居者へ対しては、住警器の販売業者による、取付けの実施も行った。

##### ●ポイント

住警器は、設置が必要な箇所が決められており、かつ、比較的高所につけなければならない等の背景から、共同購入・配布後に設置されず放置されてしまうといった懸念がある。そのため、この事例のように設置までをフォローすることは、重要な取組であるといえる。

#### 工夫点⑤：配布時の説明会実施

##### ●実施内容

各入居者へは、説明会に集まって頂いた場で、住警器の配布を行った。説明会には住警器のメーカーからも講師を派遣頂き、住警器の使用方法や必要性、メリット等についての説明を実施した。

##### ●ポイント

配布した住警器が実際に活用されるために



は、使用方法等についても、しっかりと周知されることが重要である。この事例においては、配布時に説明会を実施し、入居者の知識・意識の底上げを図っており、非常に効果的な取組であると考えられる。

また、説明会の内容については、「管理組合ニュース」にも掲載され、各入居者に配布された。

#### 工夫点⑥：聴覚障がい者用に補助警報装置の 斡旋

##### ●実施内容

住警器配布を進める中で、聴覚障がい者への対応が課題として浮かび上がった。そのため、追加の対策として、ストロボライトによる補助警報装置の斡旋も実施。3件の問い合わせがあり、そのうち1人が実際に設置を行った。

##### ●ポイント

一般的な住警器は、音による警報がメインであり、聴覚に障がいがある方については発光による補助警報装置等の設置により、警報に気づく対応が必要となるケースがある。

特別な配線が必要な点や、一般的なものよりも高額である点など、普及については課題も多いが、こうした対応についても丁寧に進めることが、火災による被害低減には重要となる。

#### (4) その他のポイント等

##### ●積極的な広報・条例の確認

東京都の条例では、住宅の寝室や階段のほかにも、寝室以外の居室や台所への住警器設置が義務付けられている。この事例においては、平成18年の時点で一度予算が承認されたが、その際は東京都の条例ではなく「住宅の寝室や階段」の基準で見積もっていたため、次年度に再度予算の取り直しが必要となった。

条例改正後、早い段階での取組開始であったため情報が少なかったことが、このように活動の妨げになるケースがある。普及促進の際は、設置基準の積極的な広報や、条例の確認等が重要であるといえる。

#### (5) 活動において作成された資料等

調査票のサンプル



「管理組合ニュース」のサンプル

今回は、補助金制度を活用し自治会等を通じて住警器の100%設置を達成した「補助金制度による自治体内100%設置（取組主体：檜原村安全・安心むらづくり協議会（東京都檜原村）」を紹介します。

なお、本ノウハウ集は消防庁ホームページ（住宅防火情報）でもご覧いただけますので、参考としてください。

<リンク先>

<http://www.fdma.go.jp/html/life/juukei.html>

# 「第39回全国消防救助技術大会」について

財団法人 全国消防協会

財団法人全国消防協会では、去る8月27日に京都市の京都市消防活動総合センターにおいて、「KIZUNA」をスローガンに、第39回全国消防救助技術大会を、多くの来賓と市民の皆様を迎えて盛大に挙行了しました。

この大会は、救助技術の高度化に必要な基本的要素の練磨を通じて、消防救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を養うとともに、全国の消防救助隊員が一堂に会し、競い、学ぶことを通じて、他の模範となる消防救助隊員を育成し、市民の皆様の消防に寄せる期待に力強く応えることを目的として毎年開催しているものです。第35回大会からは市民の皆様の目線に立って大会内容を研究し、消防の技術の高さ、力強さ、優しさをアピールするとともに、皆様に参加できる大会を目指すなど、変革を遂げながら、今大会で39回の開催を数えるに至っています。

第39回大会の開催地となったのは京都市。鴨川、桂川が流れる山紫水明のまち。伝統産業、先端産業の技術と大学の知恵が融合するものづくりのまち。1,200年を超える悠久の歴史を有し、年間5,000万人

もの観光客が訪れる国際文化観光都市である京都市において、全国から多くの市民が来場され、歴史文化と現代が調和する京都市の魅力を十分に感じられる大会となりました。

大会会場は、「京都市消防活動総合センター」。今大会を主管する京都市消防局が、平成21年4月に全面運用を開始した最新の施設であり、全国の消防救助隊員の熱い魂を吹き込むとともに、華々しく全国にお披露目する舞台ともなりました。来場される市民の皆様のために、京都市関係各局の協力による事前広報や、運営要員を約500名動員して、万全の態勢を整えることができました。

さて、大会当日は、今夏を象徴するような猛暑。一般の方や消防関係者な



新井会長

ど約15,000名で埋め尽くされた会場内は、開会式を目前に熱気と興奮に包まれていました。

午前8時50分、迫力のオープニングビデオの後、国際消防救助隊、緊急消防援助隊をはじめ、全国9地区支部から選抜された961名の精鋭たちが堂々と入場し、開催地消防長である三浦京都市消防局長の開会宣言で大会の幕は開きました。

開会式では、消防使命達成のため殉職された消防職員の御霊に対して黙とうを捧げた後、国旗・大会旗を掲揚、その後大会会長である新井勲全国消防協会会長、門川京都市長（代理：由木京都市副市長）からあいさつがありました。続いて、久保消防庁長官、高木勲日本消防協会会長（代理：秋本勲日本消防協会理事長）、山田京都府知事、柴田京都市会副議長からご祝辞を賜り、大会審判長の小見北九州市消防局長が出場隊員に向け、審判長からの指示を行いました。開会式の最後には、出場隊員を代表して京都市消防局の中村隊員が力強く隊員宣



市民参加イベント

誓を行いました。

開会式終了後のオープニングセレモニーでは、京都を代表するプロの和太鼓パフォーマンスグループ「バチホリック」、"学生のまち"ならではの「京都学生祭典 京炎そでふれ！」の踊り手の皆さんの2組の特別出演をいただき、「全国消防救助技術大会スペシャルステージ」が披露されました。

いよいよ訓練の幕開けです。全国から選りすぐられた精鋭たちの眼差しは一段と鋭くなり、出番に臨みます。救助のプロとして、また、消防本部の代表としての誇りを胸に燃えさかるような熱き魂を抱く隊員の姿と、その隊員を応援する家族や仲間の姿



陸上の部



水上の部

は、まさに今大会のスローガンである「KIZUNA」を感じさせるものでありました。磨き抜かれた技を次々と披露する隊員に、観覧席からは歓声と激励の拍手が鳴り止みません。

訓練の後半は、技術訓練。水上の部では川口市消防本部と岡山市消防局の2隊が4基の起流ポンプで複雑な流れを作る水上訓練場において『流水域での救助』、陸上の部では多治見市消防本部、徳島市消防局、京都市消防局の3隊が、山岳訓練場と救助訓練棟において『山岳救助』という、京都市消防活動総合センターの最新鋭の施設を存分に活用した訓練想定により、それぞれの創意と工夫のもと、先進的な救助技術が披露されました。会場で技術訓練を見守る隊員の眼差しも、細部にわたるまで吸収しようとする学びの眼になっていました。

閉会式が始まるまでの間は、京都市消防音楽隊と京都市消防カラーガード隊（きょうとファイヤーエンジェルス）による特別演技が披露されました。

閉会式では、各種目の入賞者を大会会長である新井会長が表彰し、「十分な安全管理の下、参加隊員に怪我もなく無事に大会を終了することができた。大会関係者の皆様にお礼申し上げたい。本大会は、陸上の部、水上の部でそれぞれ諸君は日頃鍛え抜いた気力、体力及び救助技術を遺憾なく発揮されたことは大変意義深いことと思う。本大会を一つの契機とし、今後もより一層救助技術の錬磨、向上に努め、地域住民の負託に応えられるよう希望する。」との講評を行いました。国旗降納に続いて、大会旗が三浦消防局長から次期開催地の大木さいたま市消防局長に引き継がれ、大木消防

局長が次期開催地としてあいさつを行いました。最後に、三浦消防局長が閉会を宣言し、第39回全国消防救助技術大会は幕を下ろしました。

猛暑の中、多くの来賓と、市民の皆様に来場いただき、成功裏に大会を終えることができました。今後とも、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



陸上技術訓練



水上技術訓練

# 平成22年秋季全国火災予防運動

総務省消防庁 予防課

消防庁では、「『消したかな』あなたを守る合い言葉」を平成22年度全国統一防火標語とし、平成22年11月9日から15日までの7日間にわたり、平成22年秋季全国火災予防運動を実施します。



平成22年秋季全国火災予防運動広報ポスター

平成22年秋季全国火災予防運動広報ポスターこの運動は、火災が発生しやすい気候となる時期を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、火災による死傷者及び財産の損失を防ぐことを目的として、毎年「119番の日」である11月9日から1週間の日程で実施されています。この期間に各地で住宅防火診断、防火講演会、防災訓練など様々な行事やイベントの開催を予定していますので、積極的に参加し、防火に対する正しい知識・技能の習得に努めて下さい。

火災予防運動の実施に当たっては、住宅用

火災警報器の設置が全国で義務化される平成23年6月に向けた「当面の重点実施項目」や住宅火災による死者の発生防止対策の要点をまとめた、「住宅防火いのちを守る7つのポイント」を活用し、積極的な広報を行うこととしています。

そして、この運動を機に地域住民に対し、日頃忘れがちな火災に対する警戒心の喚起を行い、一人ひとりに防火の重要性を自覚させ、日常生活での防火の実践を働きかけましょう。

## 住宅用火災警報器の普及に向けた「当面の重点実施項目」

1. 普及率調査の結果を踏まえた重点的取組
2. 共同購入等の先進的ノウハウの普及
3. 住宅防火に係る総合的な啓発と併せた普及促進
4. 住宅用火災警報器の効果・奏功事例を活用した広報活動
5. 高齢者世帯など設置困難世帯への対応強化

## ～住宅防火いのちを守る7つのポイント～

### —3つの習慣・4つの対策—

#### 3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れたときは、必ず火を消す。

#### 4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防炎品**を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器**等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。

# 婦人（女性）防火クラブ活動への理解と参加の呼びかけ

総務省消防庁 防災課

婦人（女性）防火クラブは、家庭での火災予防の知識の習得、地域全体の防火意識の高揚などを目的として、地域において活動している組織です。平成21年4月1日現在、全国各地で1万1,196団体、約178万人のクラブ員のみなさんが活動しています。

## 婦人（女性）防火クラブの活動

婦人（女性）防火クラブは、家庭や地域での火災予防を推進するため、地域住民や児童・生徒などに対して火災予防に関する知識の普及啓発に努めており、消火器取扱訓練などの実演を通して火災予防のための技術向上に貢献しているほか、紙芝居・人形劇など、子どもたちに興味を持ってもらえるよう工夫を凝らした啓発活動を進めているクラブもあります。また、平成23年6月から全住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられることを受けて、警報器設置の効果、設置・維持管理の方法などをわかりやすく説明し、設置に関する手助けを行うなど、積極的な設置促進活動を実施しています。

さらに、婦人（女性）防火クラブの活動の範囲は防火にとどまらず、地震時の家具転倒防止に関する知識の普及啓発、応急救護訓練の実施、災害時における炊き出しなどの後方支援活動などが実施されており、家庭や地域の防災力向上に大きく貢献しています。

また、災害発生時の避難などの際に支援が必要となる災害時要援護者に配慮した地域づくりの一環として、災害時要援護者宅への日常の家庭訪問による安否確認、家庭の防災点検等が実施されています。災害時の避難誘導の実施（そのための日頃からの訓練）なども含めて、婦人（女性）防火クラブの皆さんの知識や

ネットワークを生かした災害時要援護者支援の重要性はますます増しているといえます。

## 連携によるメリット

婦人（女性）防火クラブ活動は、他のクラブ・組織との連携や情報交換により一層の活動の充実が期待できます。現在、42道府県で婦人（女性）防火クラブの連絡協議会が設立されており、クラブ間の意見交換や情報交流が行われています。また、同様に地域防災を担う消防団や地区の自主防災組織、社会福祉団体やボランティア団体などの地域の関係機関との連携も重要です。合同での防災訓練や意見交換の場を持つことで、災害時にもスムーズな情報のやり取りや役割分担が期待できるなど、地域防災力向上に大きく貢献すると考えられます。

## 活動の活性化に向けて

婦人（女性）防火クラブは地域の防火・防災を担う重要な役割を担っていますが、クラブ員は近年減少傾向にあり、その活性化が求められています。大規模災害時には様々な混乱が生じることが予想されますが、そのような状況の中で主婦等の女性の方々の災害対応活動が非常に大きな力になることは間違いありません。

「自分たちの地域は自分たちで守る」という信念と連帯意識の下に、火災や災害に強い安心安全なまちづくりのために、より多くの方々に防火・防災の重要性を認識していただき、婦人（女性）防火クラブ活動に積極的に参加していただきたいと考えています。



住宅用火災警報器の普及促進のため、高齢者宅を訪問（うるま市女性防火クラブ）

（写真提供：沖縄県うるま市消防本部）



炊き出し訓練（うるま市女性防火クラブ）

（写真提供：沖縄県うるま市消防本部）

# 正しい119番緊急通報要領の呼びかけ〔11月9日は「119番の日」〕

～迅速・確実な消防活動のために～

総務省消防庁 防災情報室

国民の生命財産を守る消防活動の迅速さ、確実性を確保するためには、住民からの的確な119番通報が不可欠です。

119番通報時の留意点について、まとめましたのでご利用ください。

## How to 119番通報

一刻一秒を争う消火活動や救急・救助活動を始めるために119番通報は、重要なものです。

119番通報の受信は、管轄する消防本部の指令室等で行っています。年間の119番着信件数は、全国で約800万件（平成21年中）にのぼっており、その内訳をみますと、救急・救助に関する通報件数が全体の約6割を占めています。

あなたも通報する場面に遭遇するかもしれません。119番通報にあたってご留意いただきたい点は次のとおりです。

### ① 一般的な留意事項

119番通報の際、消防本部等の指令員から「火事ですか？ 救急ですか？」と聞かれます。通報内容に応じて、さらに次のような情報をお尋ねしますので、落ち着いて対応をお願いします。

#### 火災の場合

- ・住所（近くの目標物・ビル等の場合、何階か？）
- ・何が燃えているか？
- ・逃げ遅れはないか？
- ・通報者の氏名・電話番号

#### 救急の場合

- ・住所（近くの目標物・ビル等の場合、何階か？）
- ・誰がどうしたのか？
- ・通報者の氏名・電話番号

#### 事故の場合

- ・住所（近くの目標物等）
- ・どういう事故か？
- ・怪我人（閉じこめられている人）はいるか？
- ・通報者の氏名・電話番号

緊急通報の際、通報内容から傷病者の生命がおよびやかされていると思われる場合、傷病者への気道確保、胸骨圧迫（心臓マッサージ）などの応急手当をお願いします。また、傷病者の年齢、持病、かかりつけの病院などについては、適切な病院搬送につながる情報を、消防本部からお尋ねする場合がありますので、ご協力をお願いします。

### ② 携帯電話からの通報にかかる注意点

近年の携帯電話の普及に伴い、携帯電話による119番通報の件数が増加し、通報総数に占める割合は3割近くとなっています。携帯電話からの119番通報については、発信者が周辺の地理に不案内な場合も多い等の課題がありましたが、平成19年4月から、携帯電話等からの119番通報時に発信場所の位置情報が各消防本部に通知される共通のシステムの運用が始まりました。平成22年4月1日現在、347消防本部においてこのシステムが導入されており、迅速かつ効果的な指令業務に役立っています。

通報者の位置情報が消防本部に通知される場合が増加してきましたが、次の点にご留意ください。

- ・ 通報場所の住所の確認をお願いします。もし、分からない場合は、近くの人に聞く、道路の看板、電柱等で確認するなどの手段があります。
- ・ 確認のため消防本部から折り返し電話をかけることがありますので、携帯電話又はPHSの電源は入れたままでお願いします。

### ③ IP電話からの通報にかかる注意点

加入者番号が「050」から始まる電話番号は、119番通報できるものときかないものがありますので、自宅のIP電話が緊急通報に対応しているか、契約しているIP電話事業者に確認してください。対応していない場合は、携帯電話から119番通報するか、あるいは最寄りの消防署の電話番号を控えておけば、いざという時に慌てずに済みます。

### 119番通報の訓練をしよう～通報訓練～

火災や救急の必要な場面に遭遇したときには、落ち着いて119番通報することが大切ですが、一生に一度あるか、ないかの緊急事態に直面し、冷静に必要な情報を伝えるのは難しいことです。このため、消防本部では地域の消防訓練などと合わせて、119番の通報訓練を受付けています。

これは、事前に通報訓練を行うことを連絡した上で、実際に119番通報を体験できるものです。通報訓練を体験しておけば、実際の通報時には、大変有効と考えられますので、ご希望の場合にはお近くの消防署へご相談ください。



うちの

# 名物団員



愛媛県



愛媛県松山市消防団 女性消防団 大学生防災サポーター

篠原 忍 篠原 瑛

坂の上の雲のまち松山市からは、名物親子団員をご紹介します。

坂の上に輝く雲のように明るく、みんなを笑顔にしまう頑張り屋の忍さんと、どんなに険しい坂道でも、ひたむきに一步一步登っていくような、しっかり者の瑛くん。

見た目はそっくりですが、全く違う印象をお持ちです。  
素敵な親子団員さんの活躍に、今後も目が離せません。

福島県



福島県須賀川市消防団 第1分団長

館脇 一隆

親子3代に渡り須賀川市の味を守る館脇分団長を紹介します。館脇分団長は、和洋菓子の餡子を製造し、多くの市民に親しまれる甘い味覚を追及しながら、学生時代から趣味で弾いて来たギターを研鑽し、今ではギター教室を開講してしまう多才な分団長です。

消防団では、趣味のギターで培った音感を生かし、ラッパ隊隊長として数多くの式典で活躍し、今は、市内中心部をまとめる分団長として消防団活動を追及している頼もしい存在です。

長野県



長野県松本市消防団 四賀ブロック

松本 諦宗 真田 広雪 青木 秀貴

「109個？の煩惱（ぼんのう）」

松本市消防団四賀ブロックには4名の僧侶がいます。  
(写真は3名ですが)

どうしても取れない煩惱があるそうです。

そう、まさに「操法大会が頭から離れな～い」だそうです。  
木魚のバチを筒先に変えて日々頑張っていますが、成績の方は・・・？  
精進が足りないそうです。 南無・・・





鹿児島県鹿屋市消防団 団員

## 谷口 達志

鹿屋市消防団の谷口達志団員は、町内の老舗床屋で父と一緒に理容師として働き、客から「タッシー」の愛称で親しまれています。

20代の若さに併せて熱い消防魂を持ち、例えカット中であっても、火災が発生すれば現場にいち早く急行します。気になるカットは父が引継ぎ、お客さんもまったく文句を言わずに送り出してくれます。そんな地元団員を支える人々を守るため「タッシー」は消防団活動を頑張っています。



島根県安来市消防団 安来方面隊 赤江分団 団員

## 坂本 勝義

平成十五年に入団、すぐに小型ポンプ操法の選手として、地区大会に優勝。しかし、県大会では惨敗。悔し涙を流しながら、心機一転し、監督として選手を育て県大会に臨むも、また惨敗。指導者として不甲斐ない成績に悩んでいたところ、団員のみんなが監督として再度指導を頼んでいる姿を見ました。それから彼は、消防魂に火がついたように「操法命」を掲げ、何人もの選手を育て、県大会に出場するなど能力を発揮してくれました。

監督として、非常なまでに厳しい時、兄貴分として見守るやさしい時、団員と共に、酒を飲み交わす嬉しそうな時と、今では分団に欠かせない監督です。

本年度の県大会、地元安来市開催で記念すべき大会に出場し、小型ポンプの部で準優勝し、輝かしい結果を残してくれました。

仕事や家族を犠牲にして「操法命」として頑張っている姿に、男らしさと地元消防団員としての力強さを感じ、団結力のある未来の消防団が見えるようです。



鳥取県境港市消防団 団員

## 小原 ルミ

境港市消防団のムードメーカー団員と自らを呼ぶ小原ルミさん、消防団唯一の夫婦消防団員です。

昨年はじめて女性消防団員が誕生した消防団において、現在応急手当普及員として、地域での救命講習のサポート、住宅用火災警報器の普及対策に積極的に取り組み、女性団員の4番バッターの存在（これまた自称）です。

所属している第6分団の縁の下の力持ちになりたいとよく言ってくれている小原さん。将来は子供も含め消防ファミリーを目指し、日々活動に励んでおられます。

# 消防団の広場

## 福島県 「我が消防団」



福島県須賀川市消防団  
団長

佐藤 茂



須賀川市は、人口約8万人、面積約280平方キロで、福島県の中央に位置し、西に那須連峰、東に阿武隈高地の山並みを望み、市内中心部を阿武隈川と釈迦堂川が流れる自然豊かな地理的条件に加え、東北縦貫自動車道、国道4号、JR東北本線や東北新幹線が市の中心を縦断し、さらに県内唯一の空の玄関口「福島空港」を有する「人・自然・地域が輝く臨港都市」です。

須賀川市消防団は、本部と13分団で組織され、団員1,168名の平均年齢が29.7歳と



松明あかし

地域の若い力を結集して構成されています。

地域活動の特色として、約31万人が集まる「釈迦堂川全国花火大会」での警戒や、4百年以上の歴史がある日本三大火祭りのひとつ「松明あかし」の警戒活動を行っています。また、平成5年に開港した福島空港で実施される消火救難総合訓練にも参加し、消火や中継送水など多面に渡る実践的訓練や、関係機関の特殊な訓練を体験できることは、消防団員の技術や資質向上に繋がっています。

近年は、ゲリラ豪雨による土砂災害など想定外の局所的な災害が数多く発生しており、地域の安全を担う消防団に寄せられる期待は年々増しておりますので、我々消防団員が一致団結し、地域の安全・安心に貢献できるよう取り組んで参ります。



福島空港消火救難総合訓練

平成22年度 全国統一防火標語

## 「消したかな」 あなたを守る 合言葉

### 11月の日本消防協会関係行事

11月11日（木）	第22回全国消防操法大会第2回審査員研修会 第22回全国消防操法大会激励交流会
11月12日（金）	第22回全国消防操法大会 第22回全国消防操法大会防災展・交流物産展

### 編集後記

「天高く馬肥ゆる秋」ということわざがありますが、その意味のとおり、さわやかで気分がはれはれする気候となりました。日本消防愛読者の皆さまは、この季節をどうお過ごしですか。体を動かすのに最適の時期ですので、健康増進のために、心地よい汗をかきましょう。

さて、11月9日から15日まで、全国火災予防運動が実施されます。平成21年中の住宅火災による放火自殺者を除いた死者は、平成20年と比較して100人減少し1,023人でしたが、一層の低減が必要と思われます。既存住宅の住宅用火災警報器の設置義務化は、平成23年6月まで全国の市町村で適用になりますが、待つことなく、早い時期の設置が重要です。それぞれの地域で普及を推進しましょう。

火災予防運動期間中は、各地域で訓練や啓発等さまざまな行事が展開されるものと思います。創意工夫した訓練等ございましたら、情報のご提供とご投稿をお願いいたします。

11月12日（金）に愛知県蒲郡市で開催されます第22回全国消防操法大会も近づきました。各都道府県代表消防団の皆様は、昼夜、訓練を実施されているものと思います。万全のコンディションで大会に臨んでいただき、訓練の成果を十分に発揮してください。ご健闘をお祈りいたします。（A.S）

### お詫びと訂正

日本消防2010年9月号の10ページの記載内容に誤りがございました。関係各位に深くお詫び申し上げます。

10ページ上段の写真説明を「奈良県奈良市消防団 下櫻さんによるお礼の言葉」に、同ページ中段の写真説明を「奈良県生駒市消防団 中野さんによる大会宣言」に訂正させていただきます。

### 寄稿のお願い

皆さまの消防団活動への取り組み、ご意見などをもとに、より充実した有意義なものにしていきたく考えておりますので、多数のご寄稿をお待ちしています。

Eメールでも受付しています。

soumu@nissho.or.jp

月刊「日本消防」第六十三巻第十号  
平成二十二年十月五日印刷  
平成二十二年十月十日発行

編集人 岩田知也  
発行所 財団法人日本消防協会  
東京都港区虎ノ門二一九一十六  
電話 〇三(303)一四八一(代)

印刷所  
東京都千代田区外神田六―三―三  
日本印刷株式会社  
電話(383)六九七二(代)

# 消防人の火災共済の補償が増額されました 「1000倍補償を1500倍補償にUP」

## B型火災共済 (加入口数は5口から25口まで)

10口の場合 掛金1000円で  
火災共済金 100万円を150万円に増額しました。  
風水雪害等共済金(全損で) 20万円を30万円に増額しました。  
『掛金は、500円～2,500円(500円単位)で加入できます。』

## C型火災共済 『加入口数は、最高200口』

火災共済金 2,000万円を3,000万円に増額しました。  
風水雪害等共済金(全損で) 400万円を600万円に増額しました。  
※ 風水雪害等共済金とは、これまで災害見舞金としてお支払いしていたものです  
※ 加入にあたり、組合員となっていたいただくために出資金が必要になります。



### 生活協同組合 全日本消防人共済会

事務局 (財)日本消防協会内 支部 都道府県消防協会内

## 消防互助年金

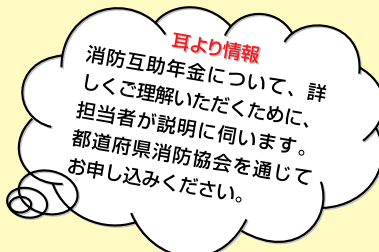
### 『消防の仲間が支える互助年金』

消防互助年金制度は、(財)日本消防協会が消防職団員等の安定した老後の生活と福祉の向上のために第一生命保険相互会社と締結している拠出型企業年金制度です

ホームページでも詳しく紹介しています



「互助マル君」



**耳より情報**  
消防互助年金について、詳しくご理解いただくために、担当者が説明に伺います。都道府県消防協会を通じてお申し込みください。

加入申込みは消防事務担当へ

問合せ先

- 各市町村の消防事務担当係
- 都道府県消防協会

(日本消防協会ホームページ)

- (財)日本消防協会 年金共済部
- 生活協同組合全日本消防人共済会  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16  
日本消防会館 TEL.(03)3503-1481~5  
<http://www.nissho.or.jp>